



ガバナー 月信 GOVERNOR'S MONTHLY REPORT 5

Rotary International District 2630 2019-2020

May 2020
Vol.11

CONTENTS

- 2019-20年度 ガバナー 辻 正敏 メッセージ
青少年奉仕月間……………P2
- 青少年奉仕月間によせて
青少年奉仕委員会 委員長 藤下 和也……………P3
- ガバナー補佐 一年を振り返って……………P4-6
- 地区委員長 一年を振り返って……………P7-11
- 活動事業報告
米山記念奨学生・卒業式……………P12-13
- 文庫通信……………P13
- 3月度会員数報告……………P14
- 会員動静報告……………P15
- 米山記念奨学生・卒業式／各事務所の案内……………P16

国際ロータリー 第2630地区
2019-2020年度
ガバナー 辻 正敏

第2630地区のHPは
スマートフォンでも
ご覧いただけます



津市白山町 亀ヶ丘「雲出川に泳ぐ鯉のぼり」





青少年奉仕月間

2019-2020年度
国際ロータリー
第2630地区 ガバナー

辻 正敏

ロータリーが誕生したのは1905年。それから115年の月日が流れました。その間に2度の世界大戦、大恐慌、東西冷戦などを経験しました。ロータリーが途絶えてしまうような危機もあったでしょう。しかしロータリーは生き続けました。時の変化に対応することができたのです。これは、いつも変わらなかったロータリー哲学「超我の奉仕」であり、「もっともよく奉仕するもの、最も多く報いられる」というロータリーの基本的な考え方が揺るがなかったからだと言えます。

もう一つは、その精神を受け継いできた人たちです。ロータリーはその時々、その時代時代の表現で前述の哲学と基本的な考え方を伝え、常に若い人たち、特に青少年を大切にしてきたことが、この歴史を表しているのではないのでしょうか。

そして私たちが居なくなった世界を担ってくれる子供たちに莫大な投資もしてきました。皆さんがよく知っているポリオ根絶活動。子供たちの将来や夢を壊されないよう、地球上から「ポリオよ、消え去れ!」と戦い続けています。ロータリー財団が初めて500ドルの補助金を世界障害児童協会に贈ったのは1930年です。ロータリーは90年に涉って子供のために活動してきたといっただけでしょう。子供たちはやがて大きくなり、教育を受け、社会人となって世のため人のために活動します。

しかしロータリーは知識や学問だけを脳に浸み込ませた人を待っていません。知識より見識、学問より教養です。社会生活は自分一人で営めるものではありません。昨年1月、サンディエゴで国際協議会に出席しました。その時世界から60人のローターアクターが正式に招かれ、一緒に研修しました。その時、分科会で一人の日本から来たローターアクターと同席しました。可愛い女の子でした。公式訪問でも話しましたが、私はそのローターアクターに聞きました。「どうしてローターアクタークラブにはいったのですか」と。帰ってきた答えは「はい、奉仕がなかったからです」と明確でした。その答えに私は驚きました。しかし同時に「これからの社会もなかなか捨てたものではないかも」ってね。彼女たちのように考えている若

者が居てくれれば大丈夫です。そしてそういう考えの若者が傍に居るということを知らなければいけません。

ロータリアンが黙っては何の広がりもありません。実際に私が先程紹介した彼女に話しかけることに勇気が必要でした。話し掛け、相手から言葉が返ってくると会話です。話はどんどん進みます。とても良い体験をさせていただきました。発信はこちらからが原則です。彼女や彼らがロータリーの哲学と基本的な考え方を理解してくれてロータリアンとなってくれれば、ロータリーは良い風に変化しながら続いていくでしょう。つまり青少年奉仕のヒントは私たちロータリアンが持っているのです。

もっとロータリアン一人一人が自信を持って青少年と向き合うことが大切です。勿論様々な問題があります。ハラスメントもその一つです。どうしたらこちらの話すことを正しく聞いてくれるのか勉強しなければなりません。今のロータリーにはたくさんのリソースがあります。特にMy ROTARYは宝の山です。お目当てのものがなくてもどこに行けば、聞けばよいかのヒントがあります。

ロータリーが歩んできた115年の歴史を200年に、いや500年にしていくために子供たち、生徒たち、学生たち、若い社会人たちと思い切って会話しましょう。ただしロータリー用語を使わずにね。その先には私たちが見たこともない光景と、限らない未来があるに違いありません。当地区には本年度青少年部門として、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、青少年奉仕の4つの委員会があります。今後この委員会が相互に情報交換や協力していくこととなります。あなたのクラブの青少年プログラムに取組む委員会も地区の青少年部門と連携して青少年と触れ合う機会ができることを望んでいます。

青少年には新しい未来を切り開いていくパワーとセンスがあります。若い人たちと一緒に出来たロータリー活動をイメージしてください。そう、ワクワクしてきました。PCの前に座ってメールのやり取りではなく、身体ごと外に出て、人と、特に若い世代と触れ合う機会を作りましょう。

そういえば次期のテーマは「ロータリーは機会の扉を開く」でした。今期のテーマは「ロータリーは世界をつなぐ」です。今期一緒に手をつないだみんなで、次期は、いろいろな扉を開きにいきましょう。上手く出来ていますね。そのようになることを祈ります。



青少年奉仕月間によせて

青少年奉仕委員会 委員長

藤下 和也

青少年を取り巻く環境は、人と人の会話やテレビ・ラジオなどのアナログの伝達からSNSなど電子機器や通信機器を介したデジタルでの伝達へと大きく変わり、情報の伝達やコミュニケーションの取り方が大きく変わりつつあります。多くの若者たちも隣の席の人と話をするのにメールやSNSでやり取りするようになり、人と人が触れ合う事での表情や感情が察知出来なく相手の心を読み取る事や自分の気持ちを上手く伝える事が不慣れで不器用になりつつあります。

実際にコミュニケーションが上手く取れず人と一緒に行動出来なくなり、引きこもりやうつ病になる若者が増えています。数年後・数十年後の世界では人と人がうまくコミュニケーションを取れないまじに機械のような人間が蔓延していく世界を想像してしまいます。パソコンやスマホで物が手に入り、少し極端かもしれませんが、食べ物や口に入れて噛まなくても満腹感が得られ栄養補給ができ、口や歯・手足も使わなくなるかもしれません。そして知識や知恵が肉体よりも勝り手足を使うことを嫌い苦勞の少ない方向に進んでいくでしょう。肉体だけではなく行動する事そのものが退化して行きます。

本来人間は「人」の字でも示すように人と人が寄り添って力を合わせて生きていく動物ですが、やはり本来の人間のあるべき姿・人のあるべき姿から外れていくような気がしてなりません。人と人が手を取り合って生きていく姿を子供達に伝えていくために、私たち大人は子供達と一緒に触れ合いながら生きていく事が必要です。一緒に行動する事での達成感や満足感を共有し、その素晴らしさや人間らしさを後世に伝える仕組みを作る事が必要です。私達一人ひとりの大人が子供に声かけをしながら・触れ合う事の大切を教える為にその意識を持って行動しなければならぬと思います。

前述が長くなりましたが、私達ロータリークラブではその為に青少年奉仕という大きなプログラムが用意されています。そのプログラムは今の青少年やこれから生まれ育っていく多くの子供達を取り巻くデジタル環境の中で健全な人間らしさを教え、健全な大人社会へ導く為のプログラムです。子供達の活動に金銭的援助をする事は元より、サッカー大会の開催や川の清掃などクラブメンバーが直接関わりながら一緒になって行動する奉仕活動やおじさん先生や出前講座など、講師派遣によるキャリア教育の一貫としての奉仕活動など、いずれもロータリークラブの青少年奉仕プログラムとしての素晴らしい活動がなされています。

それらの内容については地区ロータリークラブホームページのリンクサイトで「青少年関連」というカテゴリーが出来ましたが制作初期の為とコロナウイルスの影響でロータリー活動の延期や子供達の様々な活動が中止となった事でまだ充実した内容とは言えませんが、その中に、「青少年交換」・「インターアクト」・「ローターアクト」・「青少年奉仕」の4委員会がそれぞれに情報発信を始めました。各委員会に於いて今後活動記録などをアップデートして行きますので参考にしていただければと思っております。

そんな中「青少年奉仕委員会」では学校や教育委員会に働きかけ、青少年へのキャリア育成に力を入れ、特におじさん先生など出前講座の普及に努め、多くの現役の働く大人に講師として参加してもらい子供達に働くことの意義や夢などを伝えられるよう推進し活動しています。

ロータリー年度と学校の年度の始まりにズレがある為の難しさ・取っ掛かりの行動・学校や生徒との打ち合わせ・派遣講師の選定・実際の行動手順・次年度につなげる為の方策など多くの課題はありますが、これからもそれらを解決する為の情報発信をして行きたいと思っています。

ガバナー補佐 一年を振り返って



岐阜Aグループ ガバナー補佐
篠田 徹

ガバナー補佐の任期も残すところ3ヵ月余となりましたが、今巷ではコロナウイルスの蔓延で世界中が大騒ぎとなり夏の東京オリンピック開催も来年以降に延期となる事態になっています、この原稿が掲載される5月には少なくとも国内での拡散が収束していることを願っています。

1昨年、岐阜Aグループガバナー補佐を拝命し15年ぶりに地区活動に参加させて頂きましたが活動内容等が以前とは大きく様変わりしていて、まさに浦島太郎の心境でした。然しながら7月に開催した岐阜AグループのIM並びに合同例会では辻 正敏ガバナーのご出席を頂き160余名の会員の皆様にお集まりいただき盛会裏に終えることが出来ました。改めまして御礼申し上げます。

7月初旬にAグループ内5クラブを訪問させて頂き、RIマローニー会長は「ロータリーは世界をつなぐ」、辻ガバナーの地区テーマ『総天然色』の意義を踏まえて私はクラブ内での交流・活動の活性化を図り、そしてAグループ5クラブ間の交流を深め長年作り上げてきた各クラブの特色を互いに学んでいただきたいとお話させて頂きました。また、2つの周年行事にも参加させて頂き、10月の信長祭りには5クラブの会長さんをはじめ担当者の方々のご協力・ご支援を頂きポリオ募金を実施することが出来ました。年末からは岐阜A・Bグループの合同事業を代表幹事会の皆様と共に進めています。

中間クラブ訪問も終わり、残る3ヵ月を今年度の辻ガバナーのテーマ『総天然色』の総仕上げを意識してガバナー補佐活動して参りたいと思います。これまで多くの皆さんに支えて頂き厚く感謝申し上げますと共に地区並びに各クラブの発展を願っています。



岐阜Bグループ ガバナー補佐
堀井 利通

過ぎ去れば早いものでした。当初岐阜Bグループのガバナー補佐の大役を拝命した時は緊張の日々でしたが、あっという間に過ぎてしまいました。忙しい日々でしたが、又楽しく過ごさせて頂きました。

私にとっては有意義な時間でした。セミナー、クラブ訪問等を通じてロータリーを更に深く知ることも出来、多くのロータリアンとも友情を深めることができました。

岐阜Bグループのテーマ「ロータリーを知り奉仕と友情の輪を広げよう」を掲げてスタートをしました。IMも岐阜Bグループの会員の皆様のご協力、ご支援のおかげで無事、盛大に終えることができました。私にとって心に残る日々となりました。

只、完走することが出来ず無念、残念でなりません。辻ガバナーはじめ、岐阜Bグループの会長、幹事、会員の皆様には多大なるご迷惑をお掛けし、又ご心配をお掛けして申し訳ございません。微力ながら努めることが出来たのは皆様のおかげです。感謝申し上げます。



岐阜西濃グループ ガバナー補佐
所 俊彦

期首のクラブ訪問では、クラブ活動や奉仕活動、今年度重点を置いた活動について詳しく懇談させていただきました。クラブの歴史、テリトリー、規模も異なる9クラブの活動は多様で多彩であり、辻正敏ガバナーのテーマ「総天然色」は正に実行されていることを実感いたしました。懇談する中で現在のRIの目指している方向について戸惑いの声も多くありました。ガバナー補佐の役割はRI会長やガバナーの今年度のテーマについて伝達するだけでなく、情報交換を密にし、それぞれのクラブがRIや地区へ持っている意見や疑問に耳を傾け、話し合い、相互理解の橋渡しをすることがより重要だと実感しました。

多くの研修会や他のグループのIMへの参加、又、クラブ訪問を通じて多くの皆様と知己となり、交流の中から多くのことを学べたことに感謝申し上げます。ロータリーの素晴らしさを実感するとともに「楽しむロータリアン」としてを、これからもロータリー活動に勤しむつもりです。

残念なことに新型コロナウイルス感染症が世界中に拡散、3月以降ロータリー活動も停止状態です。会員全員が感染せず、収束後には一丸となってロータリー活動が行えることを願っています。



岐阜東濃グループ ガバナー補佐
青山 貫禪

令和元年7月8日からAGのクラブ訪問に始まり、ガバナーのクラブ公式訪問そして10月26日のIM開催と各クラブの絶大なご協力を戴き、お陰でこれまでの事業につきましても、滞りなく遂行できましたことに先ず以って御礼申し上げます。マローニー会長の要旨は、ロータリーの未来は「クラブづくり」にある。「GROW ROTARY」、ロータリーの礎は「つながり」だと。その趣旨に沿って、RIテーマを「ロータリーは世界をつなぐ」で示されました。ロータリーのビジョン声明ではロータリアンにサステイナビリティを求めています。

今、振り返ってみて、この東濃グループ8クラブが取り組んでいる事業活動は、ロータリーが目指す事業の先駆的な活動が多いことに改めて気づかされました。また、8クラブの活動が地区に大きな成果をもたらしていることも認識致しました。下半期の活動については、新型コロナウイルスの発生の感染防止策によってロータリー活動にも各事業が中止や延期に追い込まれて十分な活動ができなかったことが悔やまれますが、本年度のクラブ及びロータリアンの皆様の活動と御支援に感謝すると共に今後、益々のご活躍を御祈念申し上げます。この一年大変お世話になり有難うございました。



東海北陸道グループ ガバナー補佐
深瀬 清

先ずもって、辻ガバナーをはじめパストガバナーの皆様、そして地区役員幹事の皆様には何かとご指導を賜り厚く御礼申し上げます。また、東海北陸道グループ内の会長幹事様をはじめ、会員の皆様には地区大会や、IMなど様々な事業に理解と協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。

各クラブ例会や奉仕活動への取り組み等、多くの工夫がありました。そして何よりも大きなことは、交流が少なかった皆様とも親しく接する時間を共有できたことです。

ガバナー補佐の期間を振り返ると、一年間というのはあっという間に過ぎていくものだと実感しています。大変貴重な経験をさせていただいた感謝と次年度のガバナー補佐のご活躍に期待を込めてエールを送ります。

行き届かないガバナー補佐を支えて頂きました8クラブの会長幹事様をはじめ、グループの全会員様に心より感謝申し上げます。



濃飛グループ ガバナー補佐
清水 幸平

2019-20年度、濃飛グループのガバナー補佐として一年間勤めさせていただきました。辻ガバナー、井熊地区代表幹事をはじめ地区役員の皆様、濃飛グループの各会長、幹事の皆様にはたいへんお世話になりました。また、各グループのガバナー補佐の皆様から多大なご協力をいただきました。全ての皆様に心から感謝申し上げます。

各クラブを訪問し、マローニーRI会長のメッセージをお伝えし、辻ガバナーの方針や理念を皆様と話し合わせていただきました。各クラブはそれぞれの特徴を生かし、会長を中心にたいへん熱心な活動をされていました。またIMにおいては、鈴木一作パストガバナーをお招きしロータリーの学びをさせていただくことができました。

昨今の手続要覧の大きな変更によりロータリーのあり方が変わっていきこうとしています。この状況の中で、クラブの自主性が問われています。それぞれのクラブが、そして会員自らがクラブ定款やクラブ細則を確認し、各クラブの運営や活動内容につき今後の方向を定めていかねばならないのではないのでしょうか。

さまざまな事業を通し、たくさんの皆様と知り合うことができました。一年間の貴重な経験に心から感謝申し上げます。今後の地区及び各クラブのますますのご発展をお祈り申し上げます。



桑員グループ ガバナー補佐
坂 新太郎

本年度も残りあと数ヶ月となりました。桑員グループロータリーの皆様又、地区役員・委員の皆様のお力添えを感謝申し上げます。

各クラブ訪問では、個性と特色あるクラブ又、地域への奉仕活動の進め方を見聞きさせていただきました。私自身も知らない例会運営や活動に対して新鮮な気持ちになった次第です。IM開催に於いては大勢参加して大会を盛り上げていただきました。古き桑名の歴史を想い浮かべ、名工が当地で活躍したことに触れる機会になればと熱田神宮より福井款彦先生に講演をしていただきました。

本年度、具体的な目標の中にロータリー財団への理解と増進があり、ロータリーが理想とする奉仕の考え方は、対する人の求めるところを洞察し共感し理解しそして思いやりの手を差し伸べることとあります。桑員グループ各クラブは、地域に密着した奉仕活動をされており本年度も地区補助金申請を提出し受理されたクラブも複数あり今後もロータリー財団への寄付に始まりそして新事業を立案しプロジェクトチームにて考えを進めていただきたく思います。又、財団の中にロータリー災害救援基金がありますがまだ浸透せず良く知らない方も多ようです。災害の多い国である日本は、この方面でも活動していきたいと思いました。

一年間、本当に貴重な経験をありがとうございました。辻正敏ガバナーをはじめ地区役員・委員、桑員グループの皆様感謝いたします。



四日市グループ ガバナー補佐
九鬼 紋七

辻ガバナー、井熊地区代表幹事はじめ地区の皆さま、四日市グループの各会長・幹事の皆さま、各グループのガバナー補佐の皆様、誠にありがとうございました。

次期AGも含め2年間、様々な方々のご縁に感謝いたします。次期AGの一年は、クラブ会長を兼務しており、ロータリー三昧でした。

AGとして各クラブ訪問をして、それぞれの特色を肌で感じる事が出来ました。メイクアップをしている時とは、全く異なる感情・感性に包まれていました。各クラブでのメッセージはロータリーの基本に触れることを心がけました。異なるグループのIMに参加することで、得ることがたくさんあり、それらを活用させていただきました。

四日市グループ初の試みとして、以前からの懸案事項であった、IMでの懇親会があります。議論を重ね、知恵を出し合い、協力があり盛況に終わることが出来ました。そして、初女子会を実施しました。3クラブ13人中11人の参加で、華やかで、和やかな交流の場でした。ロータリーの土壌である親睦を通じてフェロウシップを育むことが出来ました。有意義な経験をさせていただいた事にあらためて感謝いたします。

ガバナー補佐 一年を振り返って



鈴鹿・亀山グループ ガバナー補佐
宮崎 弘夫

振り返れば、これほどロータリー活動に欲し、口惜しく感じながら一年が過ぎ去ってしまうことは記憶にありません。鈴鹿・亀山グループでは年頭において辻ガバナーのテーマ「総天然色」をグループ内共同活動にも活かすべき方法を模索しました。当グループが以前から行う学校側からの要望による出前講座は4校に行いました。

今年度は講座形態について各クラブからの提案を即座に取り入れ活動に新風を吹き込みました。今後も常に新しい形の青少年奉仕を目指せればと考えます。

そしてガバナー補佐からの呼びかけで各クラブでは経験が少ない財団のグローバル・グランツを活用した国際支援活動に資金拠出願いをこれを完遂することができました。ただ新型コロナウイルスの影響で現地での引渡し式典に参加することができず寄贈先の人々の喜びの表情に接することが叶わなかったことは非常に残念でした。しかし各クラブには今後の国際支援活動の弾みになったと考え希望があれば今後に繋げていきたいと思えます。

これまで当グループが続けてきたロータリーデーでのポリオ募金活動が先のウイルス拡散防止のために中止の判断を余儀なくされたことは非常に残念な出来事でした。この悔しさを弾みに次年度での盛況を願いたいと思えます。

以上、一年間お世話になった方々へのお礼と感謝を込めて回想いたします。



中勢・伊賀グループ ガバナー補佐
松田 英明

一昨年8月18日に次期ガバナー補佐候補者懇談会から始まり、幾度もの研修セミナーを経て昨年7月よりガバナー補佐の仕事をする事となりました。辻正敏ガバナーが在籍する中勢・伊賀グループのガバナー補佐として、身の引き締まる思いで過ごしました。

まず、各クラブへ訪問し着任挨拶及びクラブ協議会を行いました。その後、9月4日に伊賀4クラブガバナー公式訪問、9月10日に津4クラブガバナー訪問公式、9月29日にIM、11月16日～17日に地区大会と続き多忙な日々を過ごすこととなりました。全ての行事においてロータリアンの「厚意と友情」に感謝する日々を過ごし、ガバナー補佐として大変勉強させていただきました。

また、辻ガバナーはじめ、井熊代表幹事・同期のガバナー補佐・地区委員長・地区幹事の皆様との交流をとおして、本当に貴重な経験をさせていただき感謝いたします。

2020年を迎えてから、新型コロナウイルスの感染拡大が社会を混乱させ、危機的状況となってまいりました。人類の英知を結集し必ずこの窮地を克服できると確信致しております。そして、今こそ、ロータリアンの本領を発揮し、世界に良いことをしましょう。一年間ありがとうございました。



松阪・東紀州グループ ガバナー補佐
太田 正隆

ガバナー補佐の委嘱を受けて、いろいろ勉強させていただき、地区内のクラブを回り、更に岐阜のクラブにまでお邪魔して、自分の人生で、これまで無かった貴重な機会を頂き、普段話す事も無い人達と知己になり、親しく話ができる様になり、わが人生の道幅が、とてつもなく広がったような、豊かな一年を過ごす事が出来、心から感謝しています。

今まで知らなかった、職業も種々あり、人生観の全く異なった人達と、見える事は、それなりに緊張感もあり、最初のうちは色々言葉を選びながら、恐る恐る話して居た様な気がしましたが、暫らく話して居ると、皆さん懐の深いばかりで、もう何十年も付き合っている旧友と話して居るような親しみを覚え、何時も有意義な時間を過ごす事が出来たのは、皆さんの優しい気持ちと、ロータリーという強い絆で繋がっているという安心感からか、お互いに打ち解けあって、素晴らしい人となりを受け取る事が出来ました。

これから、微力ではありますがロータリーという素晴らしい人々との交わりを深め、皆さんの為、ひいては自分の為に、これからの人生を楽しく、有意義なものにして行きたいと深く感じたこの一年です。

各クラブのメンバー諸氏も、地区役員やガバナー補佐を依頼された時は、そんなこと気恥ずかしくて出来ませんと仰らずに、意を決して、ちょっと頑張ってみては如何ですか?きつと思ってもかけない、素晴らしい経験が出来るものと思えますよ。



伊勢・鳥羽・志摩グループ ガバナー補佐
浦田 幸一

伊勢・鳥羽・志摩グループ6クラブの皆さんとは、クラブ訪問をはじめ活動企画のご相談、奉仕活動への参加、また懇親としてゴルフに野球にワイン会、クリスマスパーティーにとご一緒させてもらい楽しく過ごしました。またIMでは素晴らしい経験をさせていただきました。IM終了時、新入会員の方から「IMっていつもこんなに楽しいのですか」と声をかけられたことを忘れません。

12グループのガバナー補佐交流、そして全グループのIMへの参加。辻ガバナーのテーマ「総天然色」のごとく、色々な活動の花が12グループで咲いていました。地区内で広範囲に様々な奉仕活動が展開されていることにロータリーの素晴らしさを実感しました。今まで自クラブの活動しか見てこなかった私には大変勉強になりました。

年度後半には中国発の新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、ハワイ世界大会が中止、他地区では地区大会が中止。コロナウイルスは当地区大会を終えた安堵の辻ガバナーに緊張と苦渋の選択を迫りました。各研修、行事は延期となりました。この時のガバナーの決断と行動は私にとって得難いものとして心に残りました。

短い1年でしたが、ロータリアンの皆さんに感謝!感謝!です。ありがとうございました。



研修部門・地区研修情報委員会 委員長
劔田 廣喜

辻ガバナー年度より、2630地区組織図が従来のロータリー情報委員会・職業奉仕委員会が含まれる「研修情報委員会」と名称が変わりました。役割としては、ガバナーや地区委員会が継続的にロータリアンに対して行うセミナー実施を支援、ガバナーエレクトが主催する地区研修行事を地区の関連委員会と協力、お手伝いをします。又、新設の「クラブ研修リーダー」をガバナー補佐と連携して支援することを役割とします。

近年、例会出席に規制緩和が取り入れられ、奉仕哲学の追求より奉仕活動の実践が重視され、例会はもはや「人生の道場」ではなくなりました。このままでは、ロータリークラブでの研修、教育機能が衰退して、ロータリーを学ぶ意欲の乏しい会員が増え、感性的親睦（友人とゴルフをしたり、酒を酌み交したり）が親睦の全てであるかの如く考えている会員が多くなって、ロータリーとは何かわからない会員が増えていくことになり、退会に繋がっていく事を危惧しております。

そこで、クラブレベルのロータリー研修を強化・充実する為、クラブ研修リーダーのクラブ研修の充実によって、クラブの活性化と組織強化を図らなければならないと考えています。しかし、クラブ研修リーダーを設置したばかりで、何を研修してよいのかわからないというのが現実ではないかと思えますので、地区研修委員会に支援を要請するか、ロータリーのラーニングセンターの研修資料をクラブ研修に活用頂きたいと思えます。

近年入会3年未満の会員の52%が退会していくというショッキングなデータが出されました。これは、ロータリーの良さを良く分かって貰えないまま、退会していかれている方が多いという事になります。

そこで、退会防止のためには、ロータリーの良さをキチンと伝えていくことが重要であると思えます。各クラブの研修リーダーの皆様には、ロータリーとは何か、ロータリーをロータリーたらしめているDNA、つまり、「ロータリーの本質と存在理由、（職業奉仕・例会出席）」、さらに、ロータリーの魅力とは何かというロータリーの基本を研修していただきたいと思えます。

最後に、次年度から地区研修委員会と名称が変わりますが、クラブ研修リーダーのクラブ研修のお手伝いをさせていただきますので、よろしく願います。



職業奉仕委員会 委員長
山本 和彦

期の始まりに地区では初めてとなる地区研修リーダーセミナーを研修情報委員会との合同で開催しました。ロータリーの組織、その根幹である職業奉仕・例会とは、そしてロータリアンを育てる事とは等、研修リーダーの皆様がクラブ内での研修に役立つ学びの場としてのセミナーです。これをクラ

ブでの学びの一助とし、今後地区でのセミナー開催回数を抑える事にも資するものと考えております。更なる充実した内容での開催を続けて頂くことが出来ればと思います。

今期は3年任期の委員長として最後の年になります。一年目にロータリーや職業奉仕を難しくしている「ロータリー語」に焦点を絞り歴史を遡り現代の言葉で解説をした「ロータリー語ときあかし辞典」を各クラブへ配信、二年目は「日本のロータリーが継承する伝統」その中核を成すものは「職業奉仕」と「例会」であるとの思いをしっかりと堅持し、日本の家訓や商道徳からも職業奉仕を探索しました。その上で3年目には根本的な理念である職業奉仕を自分の言葉で話せるように、わかりやすい職業奉仕の追求を進め、卓話や月信等にて発信をして参りました。「職業奉仕とは我々がその職業において、または職業を通して、他人に幸福をもたらすことであり、他人に奉仕すること」であります。

地区職業奉仕委員会へのご協力有難うございました。



公共イメージ委員会 委員長
土川 東

公共イメージ委員会は昨年度に引き続き「My Rotary」への登録を呼びかけてまいりました。昨年度の2630地区の「My Rotary」への登録率は18.86%でしたが、今年度は21.13%とアップしました。しかしながら依然として第3ゾーン(12地区)の中では最下位となっておりまだまだ低い状況です。

「My Rotary」とは国際ロータリーのウェブサイト内の会員専用のサイトで登録することによりロータリーの活動や地区・クラブ運営に必要な情報やデータを随時入手できる便利なシステムです。RIが目標とする60%を目指して登録への呼びかけを継続してお願いしたいと思います。My Rotaryに登録しロータリー活動をさらに価値のあるものにしましょう。

また今年度は2630地区ホームページの青少年関連プログラムページを4部門(青少年奉仕・ローターアクト・インターアクト・青少年交換)4つの委員会に分けて閲覧出来るようにして頂きました。地区ホームページのアクセス解析ですが、前年度より1.32倍(50,475件/年)にアップしております。

ロータリーがどのような組織でどのような活動により如何に世界に貢献しているのか?を地域社会に少しでも知ってもらいよいイメージを持って頂く事が大切で、それは延いては会員増強、パートナーシップの拡大、そして寄付推進、奉仕活動への参加向上に繋がると考えています。

そのためにはクラブの奉仕活動を通じてロータリアンだけでなく一般の方にも興味を持ってアクセスしてもらえるような充実した内容を掲載し公共イメージと認知度の向上を推進していきたいと思えますので、今後ともご協力の程よろしく願います。



地区委員長 一年を振り返って



会員増強委員会 委員長
山本 和央

本年度を振り返るにあたりまして、第2630地区内のすべてのロータリアンの皆様方のご協力により、この一年間を大過なく乗り切れましたことに深く御礼申し上げます。

年初、辻ガバナーは第2630地区のテーマを「総天然色」と謳われました。そして、具体的目標「組織の維持を考えた会員増強と拡大（ロータリーをなくさないために）に向け精一杯努めながら一緒に成果を出しましょう」と力説されました。

私たちの先輩は、ロータリー115年の歴史を通じて、ロータリアンの魂の浄化、心を磨くことを心がけてきたのであります。イギリスでは、「ロータリーは、人間の魂の在り方の問題である」と言われているように、ロータリーの第一主義は、心の開発であります。そこにロータリアンは、誇りをもったのであります。従って、ロータリアンがもう一度この誇りを取り戻さずして、ロータリーの魅力を回復することはできないと思うのであります。

従来から、これ以上会員を増強しロータリーを拡大すると、会員の質が低下するという意見があります。これは、今居る会員だけが良質なことを前提とした議論であります。良質な会員は、今居る会員以外にも沢山居るのでありますから、会員増強並びに拡大は計るべきであります。ただ、ロータリーの魅力を担保するために良質な人を選ぶべきであります。拡大の方法としては、従来存在しなかった新しい職種にも良質な人がいます。更に、女性にも良質な人が居ます。これらは、新たな分野として考慮すべきであろうと思います。良質なものはまだまだ存在します。どうか今後とも、良質な「出会い」と、良質な親睦を熟成される会員拡大を網羅していただければご幸甚であります。

最後になりましたが、会員の皆様にはこの一年間、当委員会に対し、多大なご協力と温かいご支援を頂きましたこと、重ねて厚く御礼申し上げます。



奉仕プロジェクト部門委員会 委員長
篠原 一行

奉仕プロジェクト部門委員長を拝命して一年間が終わろうとしています。社会奉仕および国際奉仕と共に「奉仕プロジェクト部門」をどのように表現・活動して良いのかと戸惑いもありました。「社会奉仕委員会そして国際奉仕委員会を支援する役目」と自分なりに判断して、各委員会が各クラブの地域活動や海外支援活動をしっかりとフォローすると共に、各クラブへの支援を第一に勧めてまいりました。

「ロータリー活動の喜びや誇りの原点は奉仕に有り」と感動を与えられましたが、まだまだ地区内各クラブが奉仕活動に対して、多くの危機感・違和感を持っているようにみえました。そして各クラブへの卓話時には、奉仕への意欲を見失っているのではないかと思う時もありました。唱え継がれているロータリーの哲学と倫理原則を基に奉仕の理想・理念を再

び照査してみようと思います。ロータリーの奉仕プロジェクトは、何処にでも誰にでも、垣根なく奉仕のために駆け付けることが望ましい姿でしょう。奉仕プロジェクト部門委員会は、常に地区内各クラブへの支援活動を積極的に勧める部門委員会でありたいと考えます。



社会奉仕委員会 委員長
河野 等

今年は新型コロナウイルスとの闘いが急に後半から始まって、なかなか総天然色というわけに行かずロータリーは世界をつなぐのメインイベントたる世界大会ハワイも飛んでしまった。いつも訪問する台湾にも行けずに終わることになった。

世界の交通、交流を遮断してなんとか納めようとしている事態であるが、今後も起こりうるので我々の奉仕活動の貴重な教訓としたい。

・こんな状況の中、補助金プロジェクト2019年は順調に進み、すでに27件のうち留学生分を除く24件の半分以上は完了して、2630地区のHPにUPされた。

・今年度の卓話は普通に計画されていたものの3月4月の例会中止を受けて計画が実施できず岐阜県1件、三重県2件、中止3件となり残念であった。

・各クラブへの恒例の環境関連アンケートは例会休止中にもかかわらず3月末時点で半数のクラブからご回答頂き、早晚まとめたデータをお届けする予定。

・悲願の「各クラブが計画する奉仕活動」についてのガバナー、Gエレクトよりのアンケートは今回の「事件」でまだお手元に届いていないが、到着後は是非ご協力をお願いしたい。

・こういう世界中閉鎖の状況が来ると、マイロータリーからの情報も不可決となる。この手段で世界につながっていく。



国際奉仕委員会 委員長
西田 重好

国際奉仕委員会の活動内容は、地区内75のクラブに対して、世界の人々に良いことをしよう、というロータリーの奉仕活動をご理解頂き、積極的にそれを実践しましょう、と各クラブに勧め、各クラブで「ロータリーの奉仕活動」について卓話をさせて頂いたり、また地区研修協議会、分科会において、各クラブの奉仕関連委員の方々にご参加頂き、地区内各クラブからの活動事例等を聞いて頂いて、それらを参考にし、各クラブでの奉仕活動を計画して頂くようお願いをする、そして、地区内の各クラブが取り組んでいる、また取り組もうとする国際奉仕活動に資金が必要な場合、その内容を聞き取り、それに見合った手法や補助金などのアドバイスをさせて頂き、ちょっとした国際奉仕活動には地区のWCS補助金を、大きな国際奉仕活動にはグローバル補助金を利用して、国際奉仕活動をお願いする等の活動を行って参りました。

WCSについては、申請クラブに対して支給致しました。

又、グローバル補助金では、タイ国3350地区との基礎的教育と識字率向上プロジェクトを進めております。

今後も、委員会として、各クラブへの有効な支援を進めていきたいと考えております。



青少年奉仕委員会 委員長
藤下 和也

昨年度の青少年奉仕のアンケートの解答を拝見し地区内各クラブでは色々な形で青少年奉仕への取り組みがなされている事が分かりました。青少年達の活動に於いての金銭的援助は元より、サッカー大会の開催や川の清掃などクラブメンバーが直接関わりながら一緒になって行動する奉仕活動、また、おじさん先生や出前講座など、講師派遣による奉仕活動など、どれもロータリークラブの青少年奉仕プログラムとして素晴らしい活動だと思います。

本年度はそのような様々な活動を多くのクラブのメンバーの方に知って頂こうと、青少年関連のホームページとしてまとめ、青少年交換・インターアクト・ローターアクト・そして青少年奉仕の4つのプログラムとしてスタートする事が出来ました。内容についてはまだまだ制作初期の段階ですので充実はしていませんが、これから様々な青少年関連のプログラムとして内容を蓄積し、各クラブで参考にしていただければと思います。

そんな中、青少年奉仕委員会では、委員会メンバーの勉強も含め、特におじさん先生など出前講座の普及に努めて参りました。ロータリー年度と学校の年度の始まりにズレがある為の難しさなど様々な課題がありますが、より具体的な方策を探っていききたいと思っております。



ローターアクト委員会 委員長
伊藤 正純

現在、当地区にはローターアクトクラブが6クラブあり 会員数は約70名が登録されており内1クラブが会員減少の為、地区行事に参加休止の状態です。この3年の任期中で1クラブの解散があり、誠に残念で私の努力不足と痛感しております。

歴史のあるローターアクトクラブが、なぜ存続して行けるのか?それはロータリアンとアクターがお互いに協力し合い奉仕活動を行っているからだと思っております。是非、提唱RCさんはアクターと親睦交流を深め青少年奉仕活動に御協力をお願い致します。

さて次年度からローターアクトの方針が大きく変わります。今まで会員年齢は18歳～30歳まででしたが、年齢の上限が廃止となります。ローターアクトクラブは、青少年奉仕部門です40歳50歳でも青少年でしょうか?しかしロータリアンとして青少年奉仕活動は、やっとなって行かなくてはならない奉仕部門の一つです。ロータリアンの皆様の御理解と御協力を宜しくお願い申し上げます。



青少年交換委員会 委員長
永尾 壽啓

順調に始まった青少年交換事業も後期より全世界を震撼させているCOVID-19の流行で、大きくスケジュールの変更を余儀なくされました。しかしながら、青少年交換委員会は、辻ガバナーのもと、委員会メンバー、受入学生、派遣候補生、各クラブ関係者、ホストファミリー、保護者の方々と一緒になり事業活動を無事に進められたことを報告し感謝いたします。

現在の学生状況は、夏期受入学生は3名、春期受入学生は3名、派遣候補学生は6名の合計12名で、それぞれが充実した、価値ある1年にする為に、合同オリエンテーションを開催してコミュニケーション力を習得してきました。また屋外に出て日本の知見を広げる「広島方面への夏期研修旅行」、加賀修PGのお世話になる「日本文化体験作陶研修」等の体験をイン・アウト交換学生全員で実践し、繋がりを深め、言葉の壁を越えた友情を築き上げています。(COVID-19による影響で「多地区合同白馬交換学生スキーの集い」は中止、「虎溪山永保寺における座禅研修」は検討中となっています。)

委員会は、COVID-19が流行している中でも学生の多くが日本滞在を望むことを知り、母国のスポンサー地区、スポンサークラブ、ご両親と統一した意識を持たせたことが何よりの成果と思っております。国際ロータリーの最終目的である世界平和を担える若き人材育成には多くのロータリアンとその関係者の努力と協力がこの事業を大きく支えていることを実感した一年でした。私は今年度をもって退任となりますが、次期委員長もとさらに力を合わせてこの事業を大きく成長して頂きたいと思っております。委員長として3年間、ありがとうございました。(この月信が、皆様のお手元に届く頃にはCOVID-19が終息していることを切望致します。)



地区委員長 一年を振り返って



インターアクト委員会 委員長
布目 美智男

今年度の委員会を振り返って思い出されるのは、韓国派遣団の募集を定員20名で行ったら応募者が25名もあり、面接の後、委員会で選考することには前年度と同様に頭を痛めることになりました。それだけ、インターアクターが海外の情勢や韓国に興味や関心を持っていることを知り、韓国でのホームステイや3600地区のインターアクターとの交流が大変意義があり重要な事業であると思いました。また、学生だけでなく引率で訪韓する委員会メンバーや教師にとっても、韓国のロータリアンのおもてなしややさしさに触れることができたことも、とても有意義な機会でした。インターアクトの年次大会では、斐太高校のインターアクト部と高山ロータリークラブの皆さんに、大変お世話になり無事に終えることができました。

韓国訪日団のお世話をさせていただき感じたことは、お互いがロータリアンとしてインターアクトクラブのために活動することの大切さや奉仕することへの共通意識を通し、寝食を共にすることで言葉の壁を越えた友情が生まれたことに、この委員会でしか味わえない貴重な体験をさせていただいたことを関わってくださったすべての人に感謝します。

韓国のロータリアンがパスポートを紛失し、韓国領事館に行ったことも貴重な体験でした。



ロータリー財団部門委員会 委員長
平井 義之

おかげさまで2年目の委員長もあと2ヶ月余となりました。日頃のロータリー財団へのご理解、ご寄付の増進、そして補助金事業への積極的なご参加に心から御礼申し上げます。

本年度は23件の地区補助金事業と4名の奨学生が地域や世界で活躍されています。また、ポリオ根絶活動につきましては本年1月、当地区ポリオ・プラス委員会の故金委員長と河地委員が「チーム ポリオジャパン」の一員としてインドに赴き、ポリオワクチン全国一斉投与活動に参加されました。

続いて2月にはポリオ根絶チャリティコンサートがロータリー財団学友会主催で盛大に開催され、100万円の尊いご寄付をポリオ・プラス基金として賜りました。

各クラブの皆さまにはチケット購入等、多くのご協力をいただき誠にありがとうございました。

このようにロータリー財団は「世界でよいことをしよう」を合言葉に自分達の住む地域や広く世界で人道奉仕に貢献しています。今後とも、より一層のご支援をお願い申し上げます。



資金推進小委員会・
平和フェロシップ小委員会 委員長
本弘 路可

ロータリー財団資金推進小委員会は、ロータリー財団への理解と寄付の増進を進めていく委員会です。

今年度は、財団制度がわかりにくいと言われる一端である英字略語をなるべく使わずに財団セミナー等の資料を作り、説明をしていくこととしました。その評価はあまり聞こえてきませんが、次年度も引き続き解りやすく、できる限り簡素なルール改正により、ロータリー財団プログラムを理解していただき、年次基金寄付150ドル以上並びにポリオプラス基金寄付30ドル以上の目標を達成するために皆様のご協力をお願い致します。

ロータリー平和フェロシップは、最も新しい、国際ロータリーとともに世界平和を構築できる人材育成を行うことを目的とした全額支給の奨学金プログラムです。世界平和の推進について学びたい優れた大学院生等がみえれば地区への情報提供をお願いします。

今年度は、地区幹事として辻がバナーを支えながら二つの委員会の委員長を遂行させていただき、至らぬ点が多々あったかと思いますが、ロータリー財団への寄付は人道支援を中心とした世界平和の為の「未来への投資」とご理解いただき、さらなるロータリー財団活動へのご支援をよろしくお願い致します。



ポリオ・プラス小委員会 委員長
故金 正司

「今期はポリオ撲滅からポリオ根絶へ」

国際ロータリーは1988年WHO、国連児童基金(ユニセフ)とCDC(米国疾病対策センター)などと共に世界ポリオ撲滅推進活動を組織しました。その後ビル&メリンダ、ゲイツ財団が加わるなど、30年度以上にわたり地球上からポリオをなくす活動を継続しています。88年当時の邦訳は「撲滅」でしたが、現在のRIとの関連組織では邦語訳に「根絶」を使用しています。

地区ロータリアンの皆様、こんにちは、今年度は撲滅から根絶へと各クラブの皆様のご協力のもと、募金活動が活発に実行されましたこと、そして募金活動を通じて一般市民へのロータリーの公共イメージを高めて頂きました成果に御礼申し上げます。

2020年1月17日よりインドネシア市内にてポリオ根絶運動のボランティアに参加して参りました。毎年1月19日はインドポリオデーとして5才未満の1億7,000万人の子供達に全国一斉にポリオワクチンの投与が実行されました。発展途上国の貧富の差は大きく、町中は衛生環境の不整備にびっくり、よくぞこの環境下でポリオ根絶が成されたことにロータリー組織の偉大さを目の当たりにしました。

現在、地球上は新型コロナウイルスが蔓延、水、衛生、感染症など奉仕活動は宝の山です。私達のロータリー活動には夢があり、自分の職業を世界中の人々に提供できるチャンスでいっぱいです。この3年間委員長として職業奉仕の実行ができましたこと、ロータリーの皆様様に感謝致します。辻ガバナー及び地区財団委員会、ポリオプラス小委員会のメンバー各位にも重ねて感謝申し上げます。



資金管理小委員会 委員長

山田 正史

この1年間ロータリー財団の資金管理小委員会も皆様方から頂いた御寄付をしっかりと管理致しまして何事もなく皆様のご協力にて無事に終えることが出来ました。本当に有難うございました。

皆様から頂いた御寄付により地区内のクラブが財団補助金を活用して事業を行う時には「授与と受諾の条件」をしっかりと理解していただき各クラブと地区との間で「MOU」の覚書きを交わして、実施される事業がより効果的にそして有意義に実践されるためのお手伝い出来るように頑張っていました。

私も資金管理小委員長を3年間させて頂いて、皆様との素晴らしい出会いと地区ロータリー財団の勉強が出来ましたことに感謝申し上げます。有難う御座いました。



補助金小委員会 委員長

堀部 哲夫

2020-21年度地区補助金の申請は、奉仕プロジェクト21件、奨学金3名となりました。委員会において、精査させて頂きました。ガバナーのご承認を頂き、5月にTRFに申請し、7月中にはTRFで承認され、クラブに支給される予定です。グローバル補助金でも、奉仕プロジェクトを数件応募予定であると情報を頂いています。ロータリー財団の補助金制度は、メンバーが少なく、奉仕資金が少ないクラブでも、大きな事業を出来るように支援する事が最大の目的です。補助金を利用して今までにないメリハリのあるプログラムを実施することにより、クラブが活性化し、地域の信頼を得られ、会員増強につながります。

特に、近年、地区補助金は、利用可能額が増えています。全ての補助金を地区内で有効に使っていただくために、奉仕プロジェクトのクラブ拠出金最低限度額を1000ドルから500ドルに引き下げ、支給規定の見直しを行いました。

これからもより多くのクラブに補助金を利用して頂けるように、さらに手続きを簡素化し分かり易くしていき、補助金を一度も利用したことがないクラブを無くしていきます。補助金を利用する上で不明な点があれば、いつでも委員会にご相談ください。一年間、ご支援有難うございました。



米山記念奨学委員会 委員長

村瀬 祐治

会員の皆様から米山記念奨学会へ寄付を頂き、当期16名の米山奨学生を世話クラブへ配属させて頂きました。

地区事業としては、4月オリエンテーション・6月大学関係者募集説明会・奨学生卓話研修会・9月中間報告並びに情報交換会・11月次期世話クラブ説明会・米山ナイト(懇親会)・1月面接選考会など、地区米山委員会の皆様ご協力で終了することができました。

新型コロナウイルスの拡大防止のため、3月米山奨学期間修了式を地区事業から各世話クラブで開催させて頂きました。米山カウンセラーさんを始め世話クラブの皆様、たいへんお世話になりありがとうございました。

4月から新年度。米山記念奨学生19名と米山カウンセラー研修・オリエンテーションは6月21日に延期させて頂き、世話クラブ例会訪問は縮小して(7月から翌年3月)事業を行います。

3年間を通じて振り返ると、米山記念奨学事業をご理解頂き、5年間に一度世話クラブを受けて頂く環境ができています。また、奨学生が世話クラブをもとよりクラブ例会訪問「奨学生卓話」は、ロータリアンにとって奨学金寄付がどのように使われているのかが実感でき、また米山事業を理解して頂く機会になっていると感じております。米山記念奨学事業がさらなる理解を頂きますようお願いいたします。

さて、当地区の高校にはインターアクトクラブ37校がありスポンサークラブ(RC)が支援しておられます。今年度より、米山奨学生がインターアクトクラブに訪問して高校生と交流の機会を作ることにしております。

また、グローバル補助金申請は英文で、また質問も英文で交わされます。また支援国の言葉の通訳に関しても申請に苦慮されておられると推測されます。ご依頼があれば米山奨学生を担当者に決め、事業推進に協力体制を作っていきます。

米山奨学生期間修了者はほとんどが日本で就職をしております。しかし、当地区ではなく他地域に就職をされます。米山奨学生はとても優秀です。当地区の企業や会社に就職できる機会を与えて頂くように思っております。

末筆となりましたが、今期 辻正敏ガバナーの指導のもと米山奨学事業が遂行できたことに感謝申し上げますと共に各クラブメンバーの皆様・委員会メンバーの皆様の温かいご支援に感謝とお礼を申し上げます。



活動事業報告

米山記念奨学生・卒業式

米山記念奨学委員会 委員長 村瀬 祐治

3月8日名古屋にて、今年度の米山記念奨学生卒業式を開催しお祝いする予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために残念ながら中止いたしました。各ホストクラブ様におかれましても例会や行事が中止されていますが、修了証書・記念品の贈呈を行って頂きました。卒業された、奨学生からメッセージを頂いておりますので、一部ご紹介させていただきます。

米山奨学生になったこの2年間、米山奨学会の皆様知り合えて本当に楽しかったです。米山奨学生の修了は終わりではなく、ただ始まりです。米山奨学会、米山ロータークラブの皆様の優しい心を、宝物として保存して、日中友好の架け橋となって、微力を尽くします。それに我が地区の米山学友会にも自分の力を入れたと思います。

現在の新型コロナウイルスは中国でも日本でも世界の国々の人達に大きな影響を与えますが、私達は手を繋ぎながら、前に向かって一緒に頑張らしましょう。

さようならと言わなく、また次回にどこかで皆様と会える日を楽しみにしております。これからもどうぞよろしくお願い致します!

三重大学 博士 万華さん(ホン ホア) (中国・伊勢南RC)

この度、米山ローターを卒業しました。1年間本当にお世話になりました。日本に来てから7年目になりますが、この7年間の中では色々なよかったことや嬉しかったことあったけど、米山ローターに合格したことが一番良かったことです!たくさんスピーチをしましたけど、初めの頃はとても緊張をしてたけど、だんだん慣れてすごく自分を成長させた1年間でした。本当に私を採用していただき誠に心より感謝しております。

これからの人生は長いですが、この日本で過ごした7年間と、ローターのみんなも忘れずに自分らしく次のステージに向けて頑張っていきたいです。出逢ったことに感謝しています。本当に今までありがとうございました。

鈴鹿大学 トゥブシンバヤル・ニャムスレンさん (モンゴル・伊勢RC)

3月12日に熊野ロータークラブで私の、米山奨学生としての卒業式が終えました。本来、例会が開かれるはずですが、新型コロナウイルスの影響で、3月の例会は全部中止になりました。その代わりに、私の為に熊野ローターでは送別会が開かれました。例会が中止になったにもかかわらず、私の為に多くのロータリアン達が私の送別会にご参加いただきました。本当に嬉しいです、ありがたいです、感動しています、感謝しております。送別会が終わりましたら、皆様から多くの御卒業お祝いのプレゼントをいただきました。熊野ロータークラブの糸川会長、カウンセラー川原さんをはじめ、大崎さん、西村さんや山門さんなど多くの方々から、ネクタイ、スカーフ、タオル、お酒や最近入手困難なティッシュペーパー・トイレペーパーなど多くのプレゼントをいただきました。本当に嬉しいです、ありがたいです。ああ、忘れていました。私が大好きなアニメ「鋼の錬金術師」の漫画全巻と主人公が持つキャリアバッグと同じ収納ケースをいただきました。送別会が終わり、2次会、3次会を行いました。糸川会長、カウンセラー川原さんをはじめ、お世話になっており、面倒を見ていただきました。感謝の気持ちはいっぱいでした。

この卒業式、送別会、米山奨学生としてのこの一年間の生活、活動は一生忘れないと思っております。これら全てが私の人生においてかけがえのない宝物です。これからの人生、生活を励まして、支えてくれると感じております。この一年間、本当にありがとうございました。この一年間で他人を思う気持ち、地域の為に無償で自分ができる限りのことに取り組むことや他人と分かち合う喜びなど、学んだこと、感動したこと、感じたことを今後の生活に生かしたいと思っております。今後も引き続き頑張りたいと思っております。

三重大学 曹 惊龍さん(ソウ ケイリュウ) (中国・熊野RC)

こんにちは、3月31日に卒業し、証明書もいただきました。米山奨学会の皆様、ロータリーの皆様、この一年間大変お世話になりました。また、奨学生の皆さん奨学生期間終わって、様々なところに行っていると思いますが、どこに行ってもいつでも忘れずに連絡をしましょうね。

今後も、奨学生の皆さんは母国と日本の架け橋となって色々な活動に参加して、ロータリーの概念を忘れずに心抱けましょう。私も奨学生になったことを大切に心の中に入れて一生、忘れないようにしたいです。これからもよろしくお願ひ致します。ありがとうございます。

岐阜協立大学 **ギャワリ・アニルさん** (ネパール・本巣RC)

新型コロナウイルスの影響により、卒業式が中止になり、例会にも出席できず残念に思っております。ご支援いただいた皆様へ感謝しております。皆様と、米山奨学金のおかげで私の大学生活は充実したものになりました。1年間ありがとうございました。

進路については、もう少し学業に勤しみたかったのですが、日本にとどまり旅館業界に進むことを最後に決めました。皆様の応援のおかげで、どんな困難にも直面する勇気が出てきました。これからは厚意に感謝し、前に向かって頑張っていきたいと考えております。

この3月に、米山奨学生を卒業しましたが、皆様に再開できることを楽しみにしております。ありがとうございます。

鈴鹿国際大学 **張 譯丹さん(チョウ イタン)** (中国・津RC)

※最終ページへ続く

文庫通信 381号

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDF もご利用いただけます。

以下資料のご紹介を致します。

書名	著者／出版社	発行年	頁数
ロータリー理解推進月間に因んで(例会スピーチ)	増田房二 京都山科R.C.	2000	7P
回首原点-ロータリーの心を尋ねて(その7)-	佐古亮尊 大村北R.C.	2011	224P
新ロータリーを語ろう	久野薫 D.2680	2015	132P
夢を語り、現在(いま)を刷新 (ガバナー月信ロータリーコラム総集編)	刀根莊兵衛 D.2650	2017	67P
ロータリーの心をたずねて	富田英壽	2017	104P
ロータリーの職業奉仕の歩みと今後への提案	黒田正宏	2017	71P

※上記資料は、全てデジタル化されています。

国際ロータリー 第2630地区 会員数報告

2020年3月分

グループ	クラブ	例会数	会員数				期首からの増減	
			期首	うち女性	月末	うち女性	増	減
岐阜A	岐阜 阜	2	80	0	77	0	6	9
	岐阜 西	2	53	0	52	0	3	4
	岐阜長良川	1	49	0	49	0	1	1
	岐阜 北	1	38	3	40	3	2	0
	岐阜 中	2	28	1	30	1	3	1
	グループ計(5)		248	4	248	4	15	15
岐阜B	岐阜 南	1	94	9	99	12	12	7
	岐阜 東	2	49	2	52	2	5	2
	岐阜東南	0	40	0	40	0	2	2
	岐阜加納	0	76	3	77	3	4	3
	岐阜エトス	3	19	2	22	2	3	0
	岐阜 城	1	16	0	19	1	3	0
	グループ計(6)		294	16	309	20	29	14
岐阜西濃	大 垣	2	88	2	87	2	1	2
	大 垣 西	2	75	0	76	0	2	1
	本 巣	2	28	0	28	0	0	0
	羽 島	0	31	4	31	4	0	0
	不 破	0	31	0	30	0	0	1
	大 垣 中	0	53	0	53	0	0	0
	大垣センチュリー	1	54	3	58	3	5	1
	岐阜淡墨	0	14	1	16	1	3	1
	岐阜サンリバー	1	17	3	18	4	1	0
	グループ計(9)		391	13	397	14	12	6
岐阜東濃	多 治 見	1	48	3	51	3	3	0
	中 津 川	0	70	2	74	2	6	2
	瑞 浪	1	59	1	59	1	1	1
	恵 那	1	50	1	50	1	0	0
	土 岐	1	41	1	41	1	0	0
	多治見西	1	33	4	32	4	0	1
	中津川センター	0	47	1	55	1	9	1
	多治見バーサイド	1	39	1	40	1	1	0
グループ計(8)		387	14	402	14	20	5	
東海北陸道	美 濃	1	21	0	18	0	0	3
	各 務 原	2	25	1	24	1	0	1
	関	0	50	2	50	2	0	0
	郡上八幡	2	38	0	37	0	1	2
	関 中 央	0	33	0	34	0	1	0
	郡上長良川	2	35	6	34	5	2	3
	各務原中央	1	25	2	24	2	0	1
	各務原かかみの	1	9	2	9	2	0	0
	グループ計(8)		236	13	230	12	4	10
	濃	高 山	0	41	0	45	0	4
下 呂		1	21	0	25	0	5	1
高 山 西		0	40	1	40	2	2	2
美濃加茂		1	39	8	39	8	0	0
可 児		0	31	1	35	1	5	1
高山中央		0	56	3	56	4	2	2
グループ計(6)		228	13	240	15	18	6	
岐阜県合計(42)		1,784	73	1,826	79	98	56	

グループ	クラブ	例会数	会員数				期首からの増減	
			期首	うち女性	月末	うち女性	増	減
桑 員	桑 名	0	41	0	39	0	0	2
	桑 名 西	0	36	0	35	0	1	2
	桑名中央	0	31	1	30	1	0	1
	桑 名 北	0	31	8	30	8	0	1
	グループ計(4)		139	9	134	9	1	6
四 日 市	四 日 市	0	95	0	93	0	6	8
	四日市北	0	24	5	24	5	0	0
	四日市西	0	72	4	71	4	0	1
	四日市南	1	41	4	42	4	1	0
	四日市東	2	39	0	38	0	1	2
グループ計(5)		271	13	268	13	8	11	
鈴 鹿 亀 山	鈴 鹿	0	69	10	70	10	1	0
	鈴 鹿 西	0	39	7	38	7	0	1
	鈴鹿ベイ	0	12	0	13	0	1	0
	亀 山	0	12	0	15	0	3	0
	鈴鹿シティ	0	68	4	71	4	4	1
グループ計(5)		200	21	207	21	9	2	
中 勢 ・ 伊 賀	津	0	63	0	65	0	7	5
	上 野	1	39	2	39	2	2	2
	名 張	2	34	2	32	1	2	4
	津 南	1	49	2	49	2	2	2
	津 北	2	49	4	52	4	4	1
	上 野 東	1	40	3	38	3	1	3
	久 居	0	27	1	28	1	1	0
	名張中央	2	24	1	25	2	2	1
	グループ計(8)		325	15	328	15	21	18
	松 阪 ・ 東 紀 州	松 阪	1	77	0	78	0	3
松 阪 東		1	61	10	64	10	3	0
熊 野		1	33	5	33	5	0	0
尾 鷲		0	14	2	13	2	0	1
松阪山桜		1	36	3	35	3	1	2
グループ計(5)			221	20	223	20	7	5
伊 勢 ・ 鳥 羽 ・ 志 摩	伊 勢	0	59	0	61	0	2	0
	鳥 羽	1	31	4	31	4	0	0
	伊 勢 南	0	45	3	46	4	2	1
	志 摩	3	49	12	50	12	3	2
	伊勢中央	0	50	0	50	0	0	0
	伊勢度会	1	15	4	15	4	0	0
グループ計(6)		249	23	253	24	7	3	
三重県合計(33)		1,405	101	1,413	102	53	45	
地区合計(75)		3,189	174	3,239	181	151	101	

■2019年3月(前年度)出席報告

	出席率	期首	月末	うち女性	増減
岐阜県合計(42)	81.03	1,757	1,802	71	45
三重県合計(33)	84.23	1,374	1,408	99	34
地区合計(75)	82.44	3,131	3,210	170	79



(注) グループ、県、地区の出席率は全てクラブ数で計算した。

2020年3月分

入会会員

 <p>廣瀬 元彦 2020.3.5 入会 施工一般</p>	 <p>刀根 大士 2020.3.3 入会 和菓子製造業</p>	 <p>堺 祐樹 2020.3.2 入会 呉服・衣料品販売</p>	 <p>大東 宏史 2020.3.31 入会 会員制ホテル</p>
--	--	---	---

逝去会員 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

 <p>中津川RC 粥川 正勝 2003.7.3 入会 2020.3.20 逝去 ポールハリスフェロー 国際交流委員</p>	 <p>四日市東RC 市田 淳一 2005.4.1 入会 2020.3.7 逝去 2008-2009年度 幹事・米山功労者・ ポールハリスフェロー</p>
--	---

新型コロナウイルスおよびポリオ根絶活動への影響に関する ロータリーの声明が、発表されました。(2020.3.30 My Rotaryより引用)

世界のどこであろうと、新型コロナウイルス(COVID-19)の影響を受けていない人は誰一人としていないようです。ワクチンがまだ存在しないウイルスのパンデミック(世界的大流行)に直面する今、ポリオ根絶活動をどのように続けたらよいのかと考えているロータリアンもいるでしょう。ひと昔前、世界はポリオウイルスによって同じような状況に直面していました。

新型コロナウイルスのパンデミックに対応するには、全世界の連帯、そして世界規模の緊急活動が必要とされます。既に数千人の従事者を有し、研究所と監視システムの大規模ネットワークを備えた世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)は、各国での対応支援のためにこのリソースを活用できるようにする道徳的義務があります。

世界公共保健における結束がかつてないほど強まる中、ロータリアンが構築を支援してきたポリオ根絶のインフラが、多くの保健ニーズだけでなく、新型ウイルスへの対応と拡大抑止のために既に活用されています。ポリオ根絶の従事者と資産が重要な存在となっているナイジェリア、パキスタン、アフガニスタンでは、GPEIパートナー団体の全スタッフが、監視、保健従事者の研修、感染経路の追跡にあたっています。また13か国で、新型コロナウイルスの対応と対策のために、ポリオ根絶活動のボランティアが配置されています。

ロータリーは、新型コロナウイルスによる緊急事態がポリオ根絶プログラムの一部に影響を及ぼしていることを認識しています。現在直面する新たな課題に取り組むと同時に、最も重要なのは、すべての子どもに安全にポリオワクチンを投与できるよう、ポリオ根絶へのコミットメントを維持し、今年度のファンドレイジング目標である5000万ドルを集めることです。新型コロナウイルスの影響により、ポリオ根絶に対する注目が逸れることは理解しています。だからこそ、ポリオとの闘いに対してロータリアンが強いコミットメントを保ち、これまでの成果を水の泡としないことが何よりも重要です。

ポリオ根絶活動へのコミットメントを維持することが必須です。ポリオ根絶の取り組みが新型コロナウイルスへの対応をどのようにサポートしているかを、My Rotaryからご覧ください。ポリオ根絶のためのご寄付をお願いいたします。

●執筆者/Rotary International その他、最新のロータリー情報はMy Rotaryをご覧ください。

●表紙



津市白山町 亀ヶ広「雲出川に泳ぐ鯉のぼり」

古代から大和朝廷と伊勢神宮とを往復する交通の要衝にあたる旧初瀬街道は、参宮道として広く利用され、全国の旅人がこの道を通っていた記録があります。

津市白山町・亀ヶ広の桜並木は、当時の村人が旅人の心を癒すため雲出川の眺めのよいところを休憩場にと吉野桜を植えたことに始まります。現在では、雲出川沿いの左岸800mにわたってソメイヨシノを中心に約250本の桜の木が並び、夜には提灯が点灯するなど、幻想的な風景が楽しめます。

●写真撮影:田邊三郎 会員(久居RC)



米山記念奨学生の皆さん、 ご卒業おめでとうございます。



▲卒業生に贈られた
終了証明書



今後、日本に残られる方、帰国される方とそれぞれですが、
母国と日本を結ぶ架け橋となり、活躍していただきたいと思えます。おめでとうございます。

2019-2020年度 地区事務所・ガバナー事務所 案内

地区事務所	〒500-8212 岐阜県岐阜市日野南3丁目5-16 TEL 058-248-9724 FAX 058-248-9725 E-mail branch@rid2630.org	執務時間 9:30~17:30 (土・日・祝日 休務)
ガバナー事務所 地区大会事務所	〒514-0033 三重県津市丸之内29-14 津商工会議所4階 TEL 059-221-2630(ガバナー事務所) TEL 059-221-2632(地区大会事務所) FAX 059-221-2631(共通) E-mail 1920@rid2630.org(ガバナー事務所) E-mail 1920taikai@rid2630.org(地区大会事務所)	執務時間 10:00~16:00 (土・日・祝日 休務)